

【当院における高齢者機能評価 (G8 スクリーニングツール) の初期的研究】

【研究へのご協力をお願い】

研究のため、患者さんの診療情報を使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。研究成果は、医学の発展に役立つように学会や学術雑誌等で発表させていただきます。その際は患者さんを特定できる個人情報を利用しません。

【研究の目的】

高齢化社会において、80 歳以上の高齢者が医療機関を受診する機会が増加しており、治療方針決定においては年齢だけでなく、身体的・精神的・社会的機能を総合的に評価する必要があります。G8 スクリーニングツールは、高齢者の身体機能、栄養状態、認知機能などを評価するためのツールで、具体的には 8 つの質問項目（年齢、食欲の変化、体重の変化、可動性、神経心理学的問題、BMI、多剤併用、健康状態）を評価しフレイル（虚弱）の有無を判定するものです。

G8 スクリーニングは、欧州臨床腫瘍学会（ESMO）などでも推奨されており、高齢者のフレイル（虚弱）のスクリーニングに用いられるツールとして、簡便で実用性が高いとされており、当院泌尿器科でも高齢の患者さんに対して診療時に評価を行っています。

本研究では、当院泌尿器科を受診し G8 スクリーニング評価を実施した 65 歳から 79 歳までの高齢者患者さんおよび 80 歳以上の高齢者患者さんについて、そのスコアと治療選択、予後、合併症発生率などの関連性を明らかにすることで、今後の診療方針決定への有用性を検討することを目的とします。

【研究の方法】

- ・当院泌尿器科の診療時または入院時、65 歳以上の方に G8 スクリーニングを実施（医師または看護師が記入）します。G8 スクリーニングの回答時間は 5-10 分程度かかります。
- ・G8 スクリーニングを実施した患者さんの診療記録より、以下の情報を収集します。
 - 年齢、性別、既往歴、ADL（Barthel Index など）、合併症の有無
 - 診断名、治療内容（積極的治療 or 緩和的治療など）
 - 治療中または治療後の合併症発生、入院期間、生存期間（追跡可能な場合）

- ・ G8 スクリーニング評価のスコアと治療選択、予後、合併症発生率などの関連性を検証します。

【研究の対象者】

2025 年 2 月～2025 年 5 月の間に原三信病院 泌尿器科を受診した 65 歳以上の方で、G8 スクリーニング評価を実施した患者さん。

【研究に用いる情報】

診療情報：

年齢、性別、既往歴、ADL（Barthel Index など）、合併症の有無
診断名、治療内容（積極的治療 or 緩和的治療など）、検査結果
治療中または治療後の合併症発生、入院期間、生存期間（追跡可能な場合）
G8 スクリーニングのスコア

【個人情報の保護について】

診療情報を収集する際に、患者さん個人を特定する情報はすべて匿名化するため、個人情報は保護されます。

【利益相反について】

本研究では、企業等からの資金提供ではなく、研究を行う上で利益相反は発生しません。

【倫理審査について】

本研究は、原三信病院の「臨床研究倫理審査委員会」で審査され、実施について承認されています。

【診療情報の利用をご了承いただけない場合・お問い合わせについて】

ご自身（またはご家族）の診療情報を研究に使用しないでほしいと希望される場合は、研究への利用をいたしませんので、下記の「研究の問い合わせ先」までご連絡ください。また、本研究に関する研究計画書などの資料の閲覧希望やその他のお問い合わせの場合も、下記の「研究の問い合わせ先」までご連絡ください。

【研究の問い合わせ先、担当者】

研究責任者：原三信病院 泌尿器科 氏名：志賀 健一郎

連絡先：〔TEL〕 092-291-3434（代表）

メールアドレス：k.shiga@harasanshin.or.jp